

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	インプロアンサンブル4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ドラム）	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	スティックコントロール、シンコペーション、ADVANCED CONCEPT、JACK DE JOHNETTE、その他				
担当教員情報					
担当教員	堀越彰	実務経験の有無・職種	有・プレイヤー		
学習目的					
<p>ドラマーがアンサンブル内でやるべきことは多岐に渡ります。アンサンブル上、最初に音を出す楽器であることが多い為、他の楽器をまとめる基礎知識、基礎力が重要となる。基本的な技術力と応用力を習得し、行き来することができる音楽家になることをめざす。アンサンブルの中のリズムセクションの中心的役割を担い、即興的な対応力を身につけ、アンサンブルをよりよくするテクニックを身につける。</p>					
到達目標					
<p>フットワークのバリエーション、シンコペーション、チェンジアップなど、自分自身のドラムフレーズを個性あるプロ仕様に変えるノウハウを伝授し、それを身につける。現場でよりよいプレイをするには、現場を良く知ることが重要。なんども実践的な発表を繰り返し、自己のウィークポイントを確認しながら進めていく。講師のみならず、仲間からのフィードバックも真摯に受け止め、自らのドラミングに生かしていく。すべてのフレーズを楽譜を見ながら叩けるようになり、読譜して音を出せるドラマーになる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>ステージに設置されたドラムでライブさながらの発表を行う。講師だけでなく、仲間からのフィードバック、そして、自らがどのような気持ちで叩いたのか？演奏の奥にある、気持ち面も重要視していく授業。練習台によるスティックコントロール、ドラムセットによるグルーブとフィールの習得、他の楽器とのアンサンブルによるリズムセクション形成方法と即興的アプローチのトライ。</p>				
注意点	<p>出席率を重要視します。続いて個々の目標に積極的に向かい向上しているか、個人練習の時間をしっかり取れているか。ドラムの上達には日々の個人練習も重要である。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験結果による評価		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	30%	授業態度による評価		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	フットワーク①	フットワークの強化 16分音符のフレーズの習得			
2回	フットワーク②	フットワークの強化 サンバキックの習得			
3回	フットワーク③	フットワークの強化 ルンバキックの習得			
4回	フットワーク④	フットワークの強化 3連符の習得			
5回	シンコペーション①	教則本シンコペーションを使った練習法 16分音符			
6回	シンコペーション②	教則本シンコペーションを使った練習法 基本パラディドル			
7回	シンコペーション③	教則本シンコペーションを使った練習法 応用パラディドル			
8回	シンコペーション④	教則本シンコペーションを使った練習法 3連符のシンコペーション			
9回	チェンジアップ	2分音符から32分音符までを正確に叩き分ける			
10回	休符移動①	8分音符フレーズ内で休符の位置をひとつずつずらす、フレーズ内の休符感覚を養う			
11回	休符移動②	16分音符フレーズ内で休符の位置をひとつずつずらす、フレーズ内の休符感覚を養う			
12回	フラム	フラムの感覚を習得する。フラムを入れてさまざまなフレーズを叩く			
13回	変拍子①	変拍子 5/4、5/8フレーズの習得			
14回	変拍子②	変拍子 7/4、7/8フレーズの習得			
15回	後期の復習	第1回から第14回までのフレーズを入れたフレーズを作曲し、発表する			